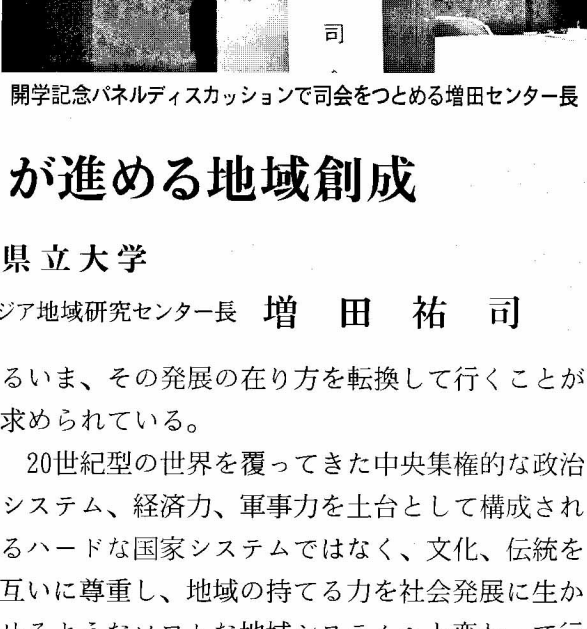


21世紀の北東アジア-I Tが進める地域創成... 1
島根県立大学開学記念パネルディスカッション... 2~3
妻教授講演会報告... 4~5
海外招聘研究員の紹介... 5
しまね学研究会グループ中間報告... 6
研究所紹介... 7
NEARセンター短信... 8



開学記念パネルディスカッションで司会をこなす島根センター長

21世紀の北東アジア-I Tが進める地域創成

島根県立大学 北東アジア地域研究センター長 増田 祐司

21世紀の幕開けとともに北東アジアに新しい時代が到来しようとしている。この地球上で目覚ましい発展を遂げる地域として注目されている。北東アジア地域が発展するためには、個別にそれぞれの地域の発展を目指すのではなく、広い視野から地域文化の振興を図り、地域が互いに協力しながら地域開発を進めることが基本となる。情報技術(I T)などを活用して産業開発、地域福祉を充実し、社会的な厚生を高めることができる。また地域、国家を超えた交通・物流、情報、エネルギーなど多様なネットワークを作り上げ、それぞれの地域特性に応じた開発を進め、地域間での開発協力を推進し、国際的な地域間協力を図って行くことが出来るのである。

北東アジア地域の南北軸を逆視して見ると日本は、そして島根はユーラシア大陸の上方に位置し、経済的視点においても北東アジアにあり、地域をつなぐ架け橋となる。太平洋の東にある北米大陸を入ると、地域発展にも中心的にも中間に位置していき、経済的視点においても北東アジアにあり、地域をつなぐ架け橋となる。太平洋の東にある北米大陸を入ると、地域発展にも中心的にも中間に位置していき、経済的視点においても北東アジアにあり、地域をつなぐ架け橋となる。

県立大学開学記念 パネルディスカッション

10月8日・9日の両日にわたり、島根県立大学の開学を記念した式典及び記念パネルディスカッションなどが開かれた。式典は先づ3日はアメリカ・カリフォルニア大学パークレー校(U・C・パークレー)など海外6大学との大学間交流協定が締結された。

北東アジアは冷戦の名残があり、これまで、朝鮮半島問題のみならず中日、中米、中露などの大國間においても不確定要素があって、不安定であった。しかし、近年中国の改革開放政策が成果をあげ、大國関係についても、ごく最近の朝鮮半島の動きについても明るい要素が広がっている。なかでも中日関係は北東アジアで重要な大國関係である。1998年の江沢民生主席の訪日では日中パートナーシップの樹立を宣言した。朱鎔基首相の訪日もある。朝鮮半島の緊張緩和をめぐる中国、米国、日本の協力は重要である。将来自北東アジア地域での経済協力が進展できる。今後とも研究者としてこれらについて情報と協力につとめていきたい。

劉中樹氏の発言の趣旨

北東アジアの戦後の歴史はもともと矛盾が集中した時代であったといえる。しかし冷戦が終結し、北東アジア協力の物質的な基盤としての経済的補完性が認識され、すでに各地域で内的な原動力として経済発展が進行している。そこでも問題が残っている。経済協力関係は垂直分業的であるという点で低レベルである。または自然資源力レベルに

とどまっている面もある。21世紀の世界のグローバル化の影響は北東アジアに及ぶ。アジア太平洋地域の発展の一端としての北東アジアという面があると同時に、地域経済ブロック集団の形成へと向かうこともありえる。多角的、高角的、多段階的な協力の視点で北東アジア協力には歴史的必然性がある。情報・文化交流をはじめ協力のフレームワークの形成が大切である。

林野敬氏の発言の趣旨

北東アジアは冷戦の名残があり、これまで、朝鮮半島問題のみならず中日、中米、中露などの大國間においても不確定要素があって、不安定であった。しかし、近年中国の改革開放政策が成果をあげ、大國関係についても、ごく最近の朝鮮半島の動きについても明るい要素が広がっている。なかでも中日関係は北東アジアで重要な大國関係である。1998年の江沢民生主席の訪日では日中パートナーシップの樹立を宣言した。朱鎔基首相の訪日もある。朝鮮半島の緊張緩和をめぐる中国、米国、日本の協力は重要である。将来自北東アジア地域での経済協力が進展できる。今後とも研究者としてこれらについて情報と協力につとめていきたい。

近年はアメリカ文化の世界へ影響が通常はわれている。しかし、日本文化の「影」の影響はアジアのみならずアメリカを含む世界に対してある。近年はポケモン、ゴジラ、忍者など日本の影響もある。ロボット、自動車、ソニー経営管理への影響もある。印象派の画家、ポムド・印象派、アルムールにもある。福島の物産とheartの世界は普遍性がある。日本の美的価値のインパクトは世界で統合されたハーモニーをもたらすことにつながっている。

赤羽雄雄氏の発言の趣旨

これからのアジア世界、ひとつは全欧安保協力(C S C E)のような全アジア安保がはたして可能か、またE I統合とはいかないまでも多様性とソフトな制度的協力が発展するのだろうか。多様性とプラグマティズムもあって構築が続けられ、最近ではアセアン地域フォーラムに北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)が参加したという変化もある。現実には北東アジアは地域的共同体ではあ

るとどまっている面もある。21世紀の世界のグローバル化の影響は北東アジアに及ぶ。アジア太平洋地域の発展の一端としての北東アジアという面があると同時に、地域経済ブロック集団の形成へと向かうこともありえる。多角的、高角的、多段階的な協力の視点で北東アジア協力には歴史的必然性がある。情報・文化交流をはじめ協力のフレームワークの形成が大切である。

りえない。北東アジア地域フォーラム的なもの、あるいは「アジア安全保障フォーラム」によって対話とコンサルテーションを積み上げていくということなども構想される。

本日の北東アジア化ではない。日・韓・中国・モルゴなどの文字のデジタル化をすすめることも必要だ。これに関連して、NEARセンターに以下のような仕事も期待される。1) 地域言語などについてのソフトウェアに責任をもち、2) ワークショップの開催、3) コンピュータが人間能力を拡張することについての理解を促進すること、4) コーディングやメタデータなどの国際標準の確立、5) 現行のコンピュータ技術を超える研究(6) 大学院レベルでの指導、教育レベルの引き上げ、7) デジタル経済の知見の拡大、8) 巨大データのディスプレイのためのビジュアル手段の研究等である。

「変動期の北東アジア地域」を展望する(晋言)

島根県立大学学長 宇野重昭

北東アジアといふ東アジアといふ、これらは地理的概念であるだけでなく、むしろ歴史的・国際政治的につくられた言葉ともいえる。内部は複雑で、北東アジア・システムを構想するときは、この地域に属する国々の単なる合成的システムと考へ、国際関係のなかのサブ・システムとしてみるべきである。それぞれの国の近代化のあらわれ方、近代的社会の形成、国民国家の建設は非常に異なる。むしろ近代化の中でその相違・異質はかえって際立ってきたといえる。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。現代ではコンピュータ、情報テクノロジーがそれにあたるともいえる。I Tは一方ではデジタル・メディアをひろげる危険性をも同時に、遅れた地域が先進的領域に転化する可能性を提供する。そのなかで、情報技術革命はもとに科学技術の発展だけでなく、人間の生き方、社会の性格、国家のあり方、価値論の世界にも密接にむすびついている点が見過されてはならない。この問の主体は人間であり、人間自由精神の再評価といふ本質にまで及ぶものである。

21世紀と自由と責任の両輪の発展

北東アジアの概念は複雑であり、それぞれの国・地域は独自性をもつ。独自性を伸ばしながら、国際的世界的市民意識が目覚めつつあるべきだ。「ひとつの国に文化の衝突もつきまとい、二つ以上の社会や文化の不確実性の中で生きている人間」が世界各々にあらわれつつある」という見方がある。この現実が北東アジアにも及んできている。

妻教授講演会報告

北東アジア地域研究センターは、平成12年8月18日(金)午後2時から5時にかけ、妻勲教授(韓国)を招き、松江の宍道湖畔に位置しているホテル一畑で講演会、懇親会を開催した。参加者は、島根情報産業協会会長および委員、島根県職員、そして島根県立大学の教授などであった。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。現代ではコンピュータ、情報テクノロジーがそれにあたるともいえる。I Tは一方ではデジタル・メディアをひろげる危険性をも同時に、遅れた地域が先進的領域に転化する可能性を提供する。そのなかで、情報技術革命はもとに科学技術の発展だけでなく、人間の生き方、社会の性格、国家のあり方、価値論の世界にも密接にむすびついている点が見過されてはならない。この問の主体は人間であり、人間自由精神の再評価といふ本質にまで及ぶものである。

講演の要旨

韓国経済は近年まで日本経済の成長経験をモデルにキャッチアップを目標として成功してきた。しかし、1997年末 IMF 救済金融を申請し、その後 IMF 管理体制から脱出するための激しい努力に対する技術的見直しをしなければならぬという反省を声かたしている。1998年韓国経済史上、初めての政権交代した金大中大統領は従来の大企業中心の経済運営を見直し、中小企業、特に I T やハイテクのような知識集約型産業を集中的に育成していくという産業政策を展開した。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。現代ではコンピュータ、情報テクノロジーがそれにあたるともいえる。I Tは一方ではデジタル・メディアをひろげる危険性をも同時に、遅れた地域が先進的領域に転化する可能性を提供する。そのなかで、情報技術革命はもとに科学技術の発展だけでなく、人間の生き方、社会の性格、国家のあり方、価値論の世界にも密接にむすびついている点が見過されてはならない。この問の主体は人間であり、人間自由精神の再評価といふ本質にまで及ぶものである。

質疑・応答及び意見交換

講演後の質疑と応答が行われた。講演者の I T 労働者の不足で中国や韓国、そしてイーストヨーロッパの国とのコラボレーションを強化している参加者の例が紹介された。過去、域内では日本の進んだ技術と資本に支えられた産業協力が盛んであった。韓国は近隣諸国を活性化し、東アジアの奇跡を遂げた。今後、I T 革命による新たな社会経済でも新しい産業協力を発展させ、定住化政策、観光政策、企業誘致政策の現状と問題点など、島根の地域課題と現状把握を中心とした作業を進め、情報化、高齢化、国際化に対応する地域ストックを豊かにし、地域を活性化させる可能性を模索する。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。現代ではコンピュータ、情報テクノロジーがそれにあたるともいえる。I Tは一方ではデジタル・メディアをひろげる危険性をも同時に、遅れた地域が先進的領域に転化する可能性を提供する。そのなかで、情報技術革命はもとに科学技術の発展だけでなく、人間の生き方、社会の性格、国家のあり方、価値論の世界にも密接にむすびついている点が見過されてはならない。この問の主体は人間であり、人間自由精神の再評価といふ本質にまで及ぶものである。

海外招聘研究員の紹介

妻勲(Bae, Soonhoon)教授 北東アジア地域研究センター(NEARセンター)では、センター研究員を中心として進められている共同研究プロジェクトを遂行するために、外国人研究員を招聘している。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。現代ではコンピュータ、情報テクノロジーがそれにあたるともいえる。I Tは一方ではデジタル・メディアをひろげる危険性をも同時に、遅れた地域が先進的領域に転化する可能性を提供する。そのなかで、情報技術革命はもとに科学技術の発展だけでなく、人間の生き方、社会の性格、国家のあり方、価値論の世界にも密接にむすびついている点が見過されてはならない。この問の主体は人間であり、人間自由精神の再評価といふ本質にまで及ぶものである。

しまね学 研究会グループ 中間報告

しまね学研究会グループは、初年度の研究計画に基づいて、調査活動と資料収集に着手している。具体的には、各研究者の領域によって、進展の程度は、必ずしも均等なもの、総じて順調である。もとも、島根県の特徴的な事象、物事を抜き出して、研究対象とするべくスタートしたプランであるので、個々の研究員が、それぞれバラバラに研究を進めることが、あらかじめ了解されている。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。現代ではコンピュータ、情報テクノロジーがそれにあたるともいえる。I Tは一方ではデジタル・メディアをひろげる危険性をも同時に、遅れた地域が先進的領域に転化する可能性を提供する。そのなかで、情報技術革命はもとに科学技術の発展だけでなく、人間の生き方、社会の性格、国家のあり方、価値論の世界にも密接にむすびついている点が見過されてはならない。この問の主体は人間であり、人間自由精神の再評価といふ本質にまで及ぶものである。

NEAR Sight

島根県中山間地域 研究センター 過疎・高齢化が続く中山間地域の振興を図るため、従来からの島根県農業試験場各分場が拡充改組され、1998年4月、島根県赤松町に「島根県中山間地域研究センター」が開設された。島根県が設置することになったセンターは、県の東南部の赤松町である。当センターでは、現在、総合技術科と地域研究科の2つのセクションが設けられている。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。現代ではコンピュータ、情報テクノロジーがそれにあたるともいえる。I Tは一方ではデジタル・メディアをひろげる危険性をも同時に、遅れた地域が先進的領域に転化する可能性を提供する。そのなかで、情報技術革命はもとに科学技術の発展だけでなく、人間の生き方、社会の性格、国家のあり方、価値論の世界にも密接にむすびついている点が見過されてはならない。この問の主体は人間であり、人間自由精神の再評価といふ本質にまで及ぶものである。

NEARセンター短信

海外6大学と交流協定締結 島根県立大学は、10月8日までに上記の海外6大学と大学間交流協定を締結した。また、この他6大学とも交流協定を準備している。地方の公立大学が、U・C・パークレーなどの有名大学との交流協定を結ぶ例は全国でもそれほど多くない。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。現代ではコンピュータ、情報テクノロジーがそれにあたるともいえる。I Tは一方ではデジタル・メディアをひろげる危険性をも同時に、遅れた地域が先進的領域に転化する可能性を提供する。そのなかで、情報技術革命はもとに科学技術の発展だけでなく、人間の生き方、社会の性格、国家のあり方、価値論の世界にも密接にむすびついている点が見過されてはならない。この問の主体は人間であり、人間自由精神の再評価といふ本質にまで及ぶものである。

NEARセンター短信

海外6大学と交流協定締結 島根県立大学は、10月8日までに上記の海外6大学と大学間交流協定を締結した。また、この他6大学とも交流協定を準備している。地方の公立大学が、U・C・パークレーなどの有名大学との交流協定を結ぶ例は全国でもそれほど多くない。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。現代ではコンピュータ、情報テクノロジーがそれにあたるともいえる。I Tは一方ではデジタル・メディアをひろげる危険性をも同時に、遅れた地域が先進的領域に転化する可能性を提供する。そのなかで、情報技術革命はもとに科学技術の発展だけでなく、人間の生き方、社会の性格、国家のあり方、価値論の世界にも密接にむすびついている点が見過されてはならない。この問の主体は人間であり、人間自由精神の再評価といふ本質にまで及ぶものである。

NEARセンター短信

海外6大学と交流協定締結 島根県立大学は、10月8日までに上記の海外6大学と大学間交流協定を締結した。また、この他6大学とも交流協定を準備している。地方の公立大学が、U・C・パークレーなどの有名大学との交流協定を結ぶ例は全国でもそれほど多くない。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。

合理的な科学的道具・手段も重要で、それは個々ばらばらの研究に、普遍的視野、共通項を提供する可能性をのぞける。現代ではコンピュータ、情報テクノロジーがそれにあたるともいえる。I Tは一方ではデジタル・メディアをひろげる危険性をも同時に、遅れた地域が先進的領域に転化する可能性を提供する。そのなかで、情報技術革命はもとに科学技術の発展だけでなく、人間の生き方、社会の性格、国家のあり方、価値論の世界にも密接にむすびついている点が見過されてはならない。この問の主体は人間であり、人間自由精神の再評価といふ本質にまで及ぶものである。

NEAR News 第2号 2000年12月発行 島根県立大学北東アジア地域研究センター 〒6900-0016 島根県浜田市野原町2433-2 Tel 0855-24-2200 Fax 0855-24-2208 E-mail: near@www.u-shimane.ac.jp http://http://www.u-shimane.ac.jp/near/